



# 切手の魅力

—使用済み切手の行方—



「まごころの集い社」の2代目の会長として、創設者の会長亡き後、会員をまとめてもらいました。その後、会長も4代目と移り変わりましたが「まごころの集い社」の事業の一つである使用済み切手の整理・販売に力を注いでこれら今日に至ります。「まごころの集い社」が使用済み切手で収益を目的に扱いはじめたのは、会員たちが何時でも集まれる場所を持ちたいと考えたからです。そのためバザーを開いたり、使用済み切手を収集したりしました。バザーは途切れましたが、使用済み切手の整理・販売は現在も活発に続いており、その活動は折りにふれ新聞やテレビに取り上げられて、その都度協力者も現れています。テレビでは昔懐かしい

フジテレビの「小川宏ショー」に初代会長と共に会員方が東京まで出かけて出演したことがあります。と楽しい思い出も語っていただきました。

## 切手

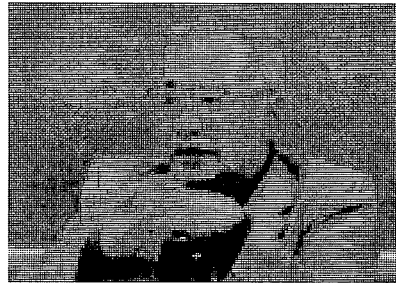
時折小雨が走る中、藤の花房が風にそよぐ平成15年4月19日（土）午後1時～4時、育徳コミュニティセンター2階の研修室で、「サロン・あべの」4月の出会い「切手の魅力」―使用済み切手の行方―のタイトルで、宮崎隆正氏（まごころの集い社・切手部長）にお話をいただきました。

宮崎氏は身体障害者親睦団体

切手は配達料の領収書。世界で最初に切手を発行したのはイギリス（1840年）。その後、ヨーロッパから各国に広がって行く。切手には通常切手と記念切手やテーマ別切手などがある。大方の人は小・中学生時代に切手に関心を持ち、集めた経験があると思う。未使用切手の蒐集もいいが、手つかずに保管するのは難しいことで、それよりは発行されたら早く使用して、使用済み切手の活用を考えるのも良いのでは。日本の切手は、色柄や紙質もよいので、使用済み切手もマニアの方々には人気があ

る。今年4月から日本郵政省から日本郵政公社に変わって、通常切手の種類が57あったのが27種類に減りはしたが、1円の切手は郵便事業を起こした前島密の絵柄ということそのまま発行されている。

「まごころの集い社」の切手と販売  
 た人が退職してからは個人で送ってくれる人もいる。「まごころの集い社」の使用済み切手は美しい商品として人気がある。最初の頃は販売先もよく分からなかったが、郵趣協会の人に声を掛けていただき、趣



切手を通して人とのつながりが広がるのがうれしい・・・と、宮崎さん

細かい配慮である。販売価格は大体、外国の切手は1枚5円、日本の通常切手は100枚セットで10円といったところ。それで年間20万円ほどの収益を得ているが、まごころの集い社の運営費の一部になる分と、積み立てて車いすを社協に寄贈したりして社会還元も考えて活動している。

ない。それほど水洗いの行程は大切で、神経の使うものなのである。こうして水洗いの済んだ切手は、充分水気を取り、重しを置いて乾燥させる。

消印は使用済みの証しでその消印が美しく捺されていると商品価値が上がる。消印にも手捺しや機械捺しがある。また、地方の消印や記念日の消印など明確に捺されている物が喜ばれる。マニアには自分の誕生日の消印を集めている人がいたり、消印だけでカレンダーを作ったりしている人がいる。自分は午年なので、馬の絵柄を集めている。自宅を切手館として馬関係の切手の展示もしている。切手は多くの種類が発行されているので目的を決めて集めると的確に集めることが出来る。額面1000円など高額の切手は使用する機会が限られてるので希少価値がある。また、切手が連続して貼ってあつ

### 切手の整理

「まごころの集い社」が切手に関わって約35年になる。使用済み切手は幅広い地域と多くの人たちの協力で集まってくる。年間500件1000人ほどの人から届く。個人もあれば会社関係などの団体からも届く。今一番多く送ってもらっているのは堺の市社協。個人で関わっているのは最高齢者は淀川にお住まいの102歳。親から子、子から孫へと続いている人もいたり、会社を代表して送ってくれてい

味の会で高額に販売できるようになった。今では自宅で年に3回販売会を開いている。販売開始の10時までは準備商品に覆いを掛けておき、時間きっかりにそれをはずす。販売会に来られた人に不公平がないようにと、

集まった使用済み切手は、通常切手と記念切手に分ける。それを額面ごとに区分けして、切手に捺されている消印がどの位置にあるかを確認。切手の枠の中にあるものはきれいに水洗いをして糊気を取り去る。この作業が切手にとって一番大切。糊気が紙に残ると商品価値が落ちる。切手の水洗いは時間があり気持ちにゆとりのある時かし

たり、消印が4枚続きの中心に押されていたりすると価値が上がる。定形封筒は機械捺しになるが、切手の枚数や貼る位置により手捺しになる場合もある。また、同じ額面の通常切手も販売形態で切手の周囲が違っているものがある。コイルという形態は切手の両側に目打ちがなく断ち切りになっている。これも希少価値がある。シリーズ物の切手、例えば、奥の細道などは110枚が1セット、近代美術シリーズも17種あり170枚を揃えないとセットが完成しない。1セットにするのに時間がかかる。だから完成したときの喜びはまた格別である。これもひとえに幅広い協力者があってこそ思っている。

切手の絵柄は美しく、それを見ながら楽しみながら時間のたつのも忘れて作業をしている。元が時計屋であるから細かい作

## お知らせ

### <サロン・あべの>6月の出会い

内容…大阪市社会福祉研修・情報センター  
見学

見学場所…大阪市西成区出城2-5-20

電話：06-4392-8201

交通：\*地下鉄四つ橋線：花園町駅  
2号出口より徒歩15分

\*市バス：長橋2丁目バス停  
すぐ（7系統=あべの橋～住  
吉川西・赤バス 西成西ループ）

\*JR大阪環状線・大和路線  
今宮駅より徒歩10分

日時…6月21日（土）

現地集合：1時30分

長居障害者スポーツセンター  
集合：12時30分

会費…なし

申し込み&問い合わせ先…

TEL 06-6691-1028（富田慶子）



### お願い

いつものように、今年も8月に「さろん亭」の開店を予定しています。厚かましいですが、他のどこよりも「さろん亭」を最優先にしていたでいて、品物の提供をお願いいたします。<サロン・あべの>の運営資金の助けになります。タオル1本、石鹸1個でもかまいません、強烈なご協力をお待ちしています。

業は苦にならず、手先を動かすのはボケ防止になると続けている。それと共に切手を通して人とのお付き合いが広がって行くのがうれしい。

宮崎氏の使用済み切手の整理の過程や方法を聞くとき普通には出来ない細心の注意が要ることが解り、改めて35年のキャリア

を感じました。参加者からは、会社から請求書を送付する時、その季節や時期に出ている切手を使用。ある時送り先の人に同じ請求書でも切手の絵柄で心が和むと言われたと経験談が聞けました。また、使用済み切手の切り取り方の質問では、消印を切らないように4×6センチくらいに切り取る。

消印が切手の中に捺されている物は、切手の回りを1センチ幅くらいのゆとりを残して切るのが良いとのことでした。切手は使用してこそ価値が生まれるというお話は、リサイクル社会を考える現在にふさわしい内容でした。

参加者23名(富田慶子)

## 誰でも参加できる場所へ

## 第12回

特定非営利活動法人 ディアレスト  
(京都府八幡市)

林 典生

このコミュニティガーデンは正式に立ち上げるのは今年の4月に入ってからのお話です。しかし、今後皆様の活動に役に立ちそうなので、これからご紹介いたします。なぜなら、今までどのコミュニティガーデンも行われていなかった試みを行おうといういろいろと走り回っています。つまり、私自身が非常勤講師をしている龍谷大学の社会人講座の中でコミュニティガーデンの立ち上げを行うことです。アメリカの場合には大学の生涯学習センターがコミュニティガーデン活動を立ち上げて、支援していく事例が見られます。

私が海外のコミュニティガーデンについて調べるとエクステンションセンターが支援しているという事例が見られますが、これは龍谷エクステンションセンター、八幡市立生涯学習センター、ディアレストの3者が私によって偶然にくつついたのが事実です。

まず、私が龍谷大学短期大学部で介護福祉士や保育士の資格を取得したい学生向けに「園芸療法の理論と実践」という授業を開講しておりまして、その関係で龍谷エクステンションセンターの「はじめてみよう園芸療法」という授業を社会人向けに開催しました。その中から実体験をしたいとの要望が多くあり、龍谷大学の方に相談しました。

龍谷大学の方からは京都府内で実践現場を探していただけないでしょうかという回答でした。その回答を受け必死に探しているうちに、たまたまディアレストというコミュニティガーデンが立ち上がる話を聞き、その旨を伝えたところその担当者の方も了承をいただきました。

その話を龍谷大学に伝え、大学側も了承

しました。しばらくしてから大学から八幡市立生涯学習センターから大学の講座を開きたいとの要望があり、もしよろしければ私の授業をそこで開催したいとおっしゃられており、雨の場合の部屋も確保したかった思いで了承いたしました。

ところが、八幡市立生涯学習センターとディアレストの場所が遠いことがわかり、龍谷大学の方が八幡市立生涯学習センターで出来ないという意味がないと思ったのか、断りの電話がセンターの方に入られました。しばらくの間、私の方には何も連絡がなかったのですが、私とディアレストの担当の方と一緒に八幡市立生涯学習センターの代表者に会いに行きました。その時にはじめてわかったのですが、ディアレストの担当の方とセンターの代表者が顔なじみなので、話はうまいこと進み、近くの公民館を借りることが出来ました。

次回以後は、様々なトピックスを交えながら、コミュニティガーデンを立ち上げる話をしていきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

## 「巻き戻し」できない現実について

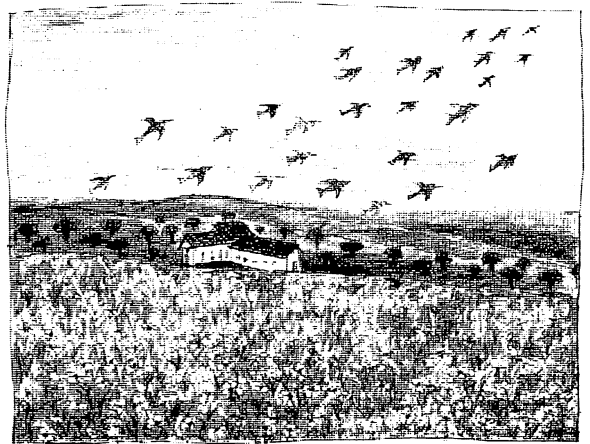
宮崎駿のアニメは細かいところまで描いているようだ。私の子どもが、テレビで録画した宮崎アニメを何度も繰り返し見ている。それにつきあって私も見ていると、たしかに見るたびに画面の端のあたりで笑っている顔を見ついたり、光に照らされた波の色の変化に気がついたりする。最初に見たときには、まったく思いもなかったことを新たに意識すれば、何気ない場面にも意味があったことを知り、物語の全体の印象も変わってくることもある。

現実の世界はといえば、アニメよりはるかに複雑である。人の表情ひとつを考えても、アニメであれば目や鼻、眉毛、口と何本かの皺で描けるかもしれないが、実際の人の表情は細かな目の動きや目のまわりの小さな皺、唇の形など、何日かけても描けないほどの無数の部分から作られている。しかも、アニメでは普通は含まれていない小さな息遣いの音が聞こえるだろうし、子ども

であれば子どもの臭いにするはずである。では、このような複雑な世界の風景がアニメの場面よりも印象に残るかというところ、必ずしもそうではない。その理由はおそらく単純で、人間は複雑なものを複雑なものとしてそのままとらえるのではなく、複雑な現実のなかからごく一部を選んでそれを認めているにすぎないからだろう。だから複雑な実際の人間の顔が、アニメでは何本かの線と何色かの色彩で描かれていても満足は残らないのである。

それどころか、アニメでは複雑なものを単純にするとき、人の印象に残るように、印象に残りやすいものを選んで単純化している。アニメで描かれている雲の浮かぶ青空が実際の青空よりも著しく簡略化されたものにすぎないのに、それでも心を打つことがあるのは、そこに意図的な印象の選択があるからだろう。

宮崎アニメを見ていて思うのは、このよ



うに単純化されたアニメであっても一度見ただけでは、その描かれているものをすべて認めることはできないということだ。何度か繰り返し見て、初めて気づくことも多い。

ということは現実の世界では、私たちはあまりに多くのことを気づかずに過ごしているということだ。私たちが五感によって見たり、聞いたり、触れたり、臭いをかいだ

り、味わったりする現実には、もちろんビデオのように「巻き戻し」はできない。いま出会った、あの人は私に何が言いたかったのだろうと振り返っても、ぼんやりした印象しか残らないのが普通だ。言われた言葉のごく一部だけが心に残り、その表情も不安げな目の動きしか覚えていなかったりする。

アニメと比べてはるかに複雑な世界に私たちは「巻き戻し」ができない一度切りの条件で生きている。そして、実は何もわからないままに、わかったような顔をして答えている。十分に互いに理解していないままに声が伝えられ、言葉が回っていく。

注意して耳を傾けていこう。充分に見ておこう。「巻き戻し」どころか「停止」もできない私たちの現実には、私たちの手のひらでは万分之一もすくえない大河の水のように滔々（とうとう）と流れていくのだから。

(知)

## サロンの絵はがき

一組五枚セット一八〇円

私は、これまで大正琴、キーボード、陶芸、絵画などを習っていた。でも何をして

も長くても半年、短くて1カ月ぐらいしか続かないのである。  
ところがふとしたきっかけで、中学3年の4月から書き始めた日記が1日も欠かすことなく今日まで続いているのだ。自分でも不思議で仕方がない。

先日、机の引き出しの中を整理していると、1枚のリーフレットが目についた。それを何気なく読んでみると、宗教家のT師が次のように書いておられた。

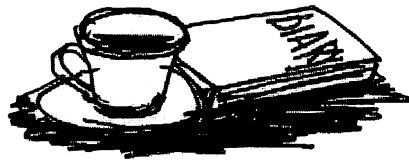
「継続は力なり」というが、ただただだらりと続けられればよいということでもあるまい。その続けていることの内容と願いが、

現実の在り方を問い続け、真実を求め続けているものでなくてはならない。要するに「ほんものはつづき、つづけるとほんものになる」のである。

## 晴れのち晴れ 56

継続しているもの

稲垣 恵雄



私はこの一文を読んで、頭をゴツンとたたかれる思いがした。なぜかと言えば、そんなに深く考えずにとにかく続けてさえいればよいと思っていたからである。でもT師の言われるように本当に続けるということは「続けていることの内容と願

いが、現実の在り方を問い続け、真実を求め続けているもの」でなくてはならないのだろう。

これからは、T師のこの言葉を肝に銘じて日記を書いていきたい。

# 植物あれこれ

52

山口康二郎

麦 — その2 —



前回「麦」について書きましたら、意外に反響があり、いろいろな感想が寄せられ恐縮しています。ある人は遠い昔を偲んだ感謝、ある人は詩に対する感想（親父の権威）について、の二つに分けられます。

いつも園芸の相談に乗ってくださるテクノ園芸専門学校（山田名誉校長に、大阪や和歌山に麦のないわけをお聞きしたところ、伝統的に麦が少ない地方だということが分かりました。温暖なこの地方では米の裏作に、例えば玉葱・豌豆を作るのが昔から行われており、麦はそれらを寒波から守る風避けとしてそれらの北側に植

えられ、春になると刈り取って敷き藁にしていたと教えていただきました。

今は、グルメ感覚あるいはヘルシー感覚で麦を食べている方がおられますが、私の年代ではその麦が主食でした。所得倍増計画を唱えた故・池田首相は「貧乏人は麦飯を食え」といつて、問題化したのは戦後もしばらくしてからのことでした。麦⇨窮乏生活、という思い出は私たちの時代の共通でしょう。しかし、私は麦が好きです。いや、食べるのは出来るだけ米を多くした「ご飯が好きです」。

子供の頃麦踏みしながら、食物を踏みつけることに後ろめたさがあり、ある時1本抜いてみました。子供の力ではなかなか抜けるものではありませんが、やっとこさ抜いて驚きました。5〜6センチの芽の下には15センチ以上の根が無数にありました。私の植物に対する畏敬の念を植え付けてくれた最初の出来事です。もう一つ、麦が好きな理由は、実った姿です。踏みつけられたにもかかわらず、その姿は空を向いて黄金色の穂を真つすく伸ばしています。

ありがとうございます。

何と、日本における麦の自給率は9パーセントしかありません。もっと麦を植えることは出来ないのでしょうか。

カンパ、茶菓子・バザーの品物・切手の寄贈、サロングッズのお買い求めなど、ありがとうございます。（敬称略・順不同）

磯崎章一、岡賀寿子、風智恵子、関幸子、坂井柁子、高橋澄子、長島伊津子、中原友喜、表谷恵美子、藤井さゆり、松村順子、真殿香与女、宮崎隆正、倭栄司、吉原和郎、その他の方々。

# 美智子のこんな話

岸田美智子

支援費制度がスタートしたが…

この4月から障害者施策を大きく展開させ、ヘルパー派遣事業者と利用者である障害者との対等な関係において契約を結ぶ支援費制度がスタートしました。でも、その事務作業に追われ、4月中旬、下旬になっても受給者証が障害者の手元に届かず、ヘルパー事業者と契約が出来ずに困りはてた障害者の方もおられたと思います。なおかつ各地の市・町・村では障害者がサービスを選択出来るほど、事業所が揃っていないところが多くあります。そんな中で私たちのところにも支援費に関するいろいろな相談が持ち込まれています。1人の障害者が3〜4カ所の事業所と契約する事も多くあり、この場合事業所によって契約内容が違い、

その支援費の時間数などの管理を障害者自身がどれだけ把握出来ているのか、非常に問題点が多いのが実情です。気がつくと自分の支給決定額が多額になってしまいうケースが出てくると思われます。また、時間数が多いため「日常生活支援」型になり「身体介護」型より時給が約2分の1以下に減ってしまい、ヘルパー事業所からは、嫌われてしまうケースもあります。そしてこれまで介護の時間数が足りないために介助者に払う時間給を半額などにして、やりくりしてきた障害者のケースは出来るだけそのままの額でヘルパー事業者にやっていってほしいと要望してしまう実態があります。この場合、要求された事業所は赤字覚悟でヘルパーを派遣するかどうかの判断を迫られます。

もし、赤字覚悟でヘルパーを派遣したとしても、その利用者である障害者の方が地域でどのような生活を作っていくとされ、

それを伝えるための介護保障はどんな形で、どれだけ足りないのかということ常を常把握し、行政に要求していかねばならないと思います。もし安易に障害者の要求だけを信じて不正受給の一端を担ってしまったのでは、この事業所の認定そのものが、取り消されてしまう事にもなりかねないという事を肝に銘じておくべきだと思われま

す。

始まったばかりの支援費制度は、まだまだ障害者一人ひとりの実態に合った使いやすいい制度ではありません。利用していく中でその課題を整理し、よりよい制度に作り替えていく作業が今より求められているのではないのでしょうか？

〔連絡先〕

特定非営利活動法人

ライフ・ネットワーク

ヘルプセンター・ホップ

住所 〓〒558-0002

大阪市住吉区長居西1-9-12

(キミハウス1F)

TEL&FAX 〓06-6609-3210

(担当 堀川・宮本)





## 毎月ニュース

### ■「サロン淀川」6月の出会い

日時：6月15日(日)午後1時30分～4時  
内容：ゴスペルをハート呼吸・姿勢で美しく美しく歌いましょう  
～たんりき倶楽部メンバーに冒険しながら、ゴスペルを楽しみませんか～  
場所：淀川区民センター「やすらぎ」  
大阪市淀川区三国本町2-14-3  
会費：なし

問い合わせ先：淀川区社協(ボランティア・ビューロー) ☎06-6394-2900  
E-mail: sorajii@iris.eonet.ne.jp

### ■「サロン・ひらの」6月の出会い

日時：6月28日(土)午後1時30分～4時  
内容：支援費制度Q&A  
場所：平野区民センター「にこにこセンター」  
大阪市平野区平野東2-1-30  
会費：500円

問い合わせ先：高橋 ☎090-4497-0635  
足立 ☎070-5931-5299

### ■「サロン・にし」6月の出会い

日時：6月14日(土)集合午後1時30分  
内容：みんなで鞆公園を散策しよう!  
場所：鞆公園(集合場所=西区ボランティア・ビューロー室 大阪市西区新町4-5-14  
6階 西区役所隣)  
会費：なし

問い合わせ先：関口 ☎090-4281-5641

### ■サロン『アイ』6月の出会い

日時：6月14日(土)午後1時30分～4時  
内容：車いす介助と視覚障害者の手引きの実践  
場所：生野在宅サービスセンター  
「おかちやま」2階ボランティアルーム

大阪市生野区勝山北3-13-20

会費：なし

問い合わせ先：生野区社協(ボランティア・ビューロー) ☎06-6712-3101

### ■《てくてく・すみよし》6月の出会い

日時：6月8日(日)午前11時～午後3時  
内容：お好み焼きパーティー  
場所：あびさんサロン  
大阪市住吉区我孫子3-10-16  
会費：2000円

申し込み締め切り：5月末日 しかし当日参加も可  
申し込み・問い合わせ先：  
山本篤江 ☎06-6692-8411

### ■「サロンつるみ」6月の出会い

日時：6月1日(日)午後1時30分～4時  
内容：見えないって、どんなこと?  
パネラー：服部純子氏(日本ライトハウス生活支援員)  
場所：鶴見会館2階  
大阪市鶴見区横堤5-5-51  
(地下鉄鶴見緑地線横堤駅5番出口)

会費：なし

問い合わせ先：鶴見区社協(ボランティア・ビューロー) 田村 ☎06-6913-7070

### ■「サロン・にしよど」6月の出会い

日時：6月28日(土)午後1時30分～4時  
内容：未定  
会費：なし  
場所：西淀川区在宅サービスセンター  
「ふくふく」 大阪市西淀川区千舟2-7-7

問い合わせ先：西淀川区在宅サービスセンター  
☎06-6478-2941  
中本 ☎090-4497-0635

### ■「サロンいたみ」6月の出会い

日時：6月21日(土)午後2時～  
内容：ふれあいコンサート  
場所：伸幸苑 伊丹市寺本町6-150  
会費：なし

問い合わせ先：砂脇 ☎0727-84-0057  
(午後7時以降)

## 声で読書のお手伝い

### 音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で〈サロン・あべの〉紙第202号の音訳テープが出来ました。

#### ■音訳テープ文庫

- (a) 〈サロン・あべの〉紙は、第1号より第202号までそろっています。
- (b) 〈サロン・あべの〉十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「〈サロン・あべの〉平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一著＝糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ぼけっと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (o) 「もうちょっと知っとく？ 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
- (r) 「勁くしずかに」(河野勝行 編・著＝糸でんわ音訳)
- (s) 「たまごが ポン！」(稲垣恵雄著＝糸でんわ音訳)

ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田 (☎06・6691・1028) まで。

## 寄りみち



特殊切手や記念切手は通常切手に比べて相対に華やかで寸法も大きめで、何となく使い映えがします。受け取った方も、へえ きれいじゃん、とうれしくなります。新商品の紹介・季節の挨拶などお得意先への郵便物は全部特殊切手というお店があります。料金別納扱いにすれば手間も時間も省けると思うのに、切手をペタペタ貼ってあるんです。ちなみにこのお店、宛名はいつも手書きです。(石)

<サロン・あべの>VOL.203 発行：平成15(2003)年5月17日 定価¥100  
 編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子  
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941  
 印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212  
 本紙はホームページでもお読みいただけます。書庫は、<http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/>